

転移性肺腫瘍に対する肺切除術の多施設共同コホート研究

1. 研究の対象

1996 年以降に当院で転移性肺腫瘍に対して肺切除を受けられた方。

2. 研究目的・方法

様々ながんや悪性腫瘍からの転移性肺腫瘍に対する治療として肺切除術が施行されます。しかしながら大腸癌などの一部の癌に対する抗腫瘍効果はほぼ確立されているものの、どのようながんや腫瘍からの肺転移に対して、どのような時期に、どのような手術を行うべきであるかなどの問題についての結論は出されていません。そこで、全国の施設で、これまでに転移性肺腫瘍のために手術を受けられた患者さんに対して、実際にどのような治療が行われ、効果はどうだったかということを調べることを目的として、転移性肺腫瘍研究会（帝京大学に事務局を置く）という研究グループを組織し、情報を収集し研究を行っています。転移性肺腫瘍研究会では各参加施設において、転移性肺腫瘍（原発巣：大腸癌、乳癌、骨腫瘍、軟部組織腫瘍、頭頸部腫瘍、子宮癌、腎癌、その他）に対して肺切除術を受けた患者さんの患者基本情報、原疾患、治療内容、再発の有無および生存を調査します。転移性肺腫瘍患者さんにおける肺切除の治療効果について検討するのが本研究の目的です。この研究によって、将来同じような状況の患者さんがおられた場合に、手術をしたほうがいいのか、しないほうがいいのかを決定するひとつの指標になることが期待されます。研究期間は 2017 年 7 月 6 日（倫理委員会承認日）～2022 年 3 月 31 日で、合計 300 例の登録を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で利用する情報は登録されている臨床情報です（性別、年齢、既往歴、その他の併存症の有無、原発癌の種類・治療、術前治療の有無、術前の病理診断の有無、手術日、組織型、腫瘍径、病期、手術術式、切除根治性、補助療法の有無、化学療法の内容、放射線治療の内容、最終確認日、転帰、再発部位、再発後治療など）。

4. 外部への試料・情報の提供

帝京大学医学部外科学講座に事務局を置く転移性肺腫瘍研究会へ臨床情報を提供します。試料の提供はありません。

5. 研究組織

本研究に参加する研究機関とその代表者は以下の通りです。

がん研有明病院	呼吸器外科	奥村 栄
慶應義塾大学医学部	呼吸器外科	河野光智
東京都立駒込病院	外科	堀尾裕俊
埼玉医科大学総合医療センター	外科	中山光男

千葉県がんセンター	呼吸器外科	飯笹俊彦
千葉大学大学院医学研究院	呼吸器病態外科学	吉野一郎
東京医科大学	呼吸器外科	池田徳彦
東京大学医学部	呼吸器外科	中島 淳
栃木県立がんセンター	呼吸器外科	松隈治久
獨協医科大学	呼吸器外科	千田雅之
浜松医科大学	外科学第一講座	船井和仁
結核予防会 複十字病院	呼吸器外科	白石裕治
防衛医科大学校	外科学第2	尾関雄一
杏林大学医学部	呼吸器・甲状腺外科	呉屋朝幸
東邦大学医療センター大森病院	呼吸器外科	伊豫田明
独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	呼吸器科	加藤良一
埼玉県立がんセンター	胸部外科	秋山博彦
三思会 東名厚木病院	呼吸器外科	稲垣敬三
新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	呼吸器外科	藤田敦
山形県立中央病院	呼吸器外科	塩野知志
君津中央病院	呼吸器外科	飯田智彦
日本海総合病院	呼吸器外科	金内直樹
帝京大学医学部	外科学講座	川村雅文
大阪大学大学院医学系研究科	呼吸器外科	奥村明之進
愛知県がんセンター中央病院	呼吸器外科	坂尾幸則

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

神崎 隆 （大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学）
大阪府吹田市山田丘 2-2(L5)
TEL: 06-6879-3152, FAX: 06-6879-3164
E-mail : kanzaki@thoracic.med.osaka-u.ac.jp

研究責任者：

奥村明之進（大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学）
大阪府吹田市山田丘 2-2(L5)
TEL: 06-6879-3152, FAX: 06-6879-3164
E-mail: meinosin@thoracic.med.osaka-u.ac.jp